

## 町優秀賞を授与しました



新谷奈々さん（大南・伊予農業高等学校3年）は、第18回全国高校生パンコンテストの地産地消高配合部門に出場し、「みかんをギュッと！ねじりパン」という作品で、優秀賞・江川太郎左衛門賞と特別賞・東京製菓学校賞を受賞されました。これを表して砥部町から優秀賞を授与しました。

2月27日 役場にて

## 県指定無形文化財「砥部焼」の技術保持者に認定されました



二宮好史さん（五本松）が県指定無形文化財「砥部焼」の技術保持者として認定され、認定書伝達式が行われました。

二宮さんはろくろ成形技術や、素地を彫り釉薬を埋め込む釉象嵌ゆうそうかんの技術など、砥部焼の高度な技術保持者として認定されたものです。

3月5日 役場にて

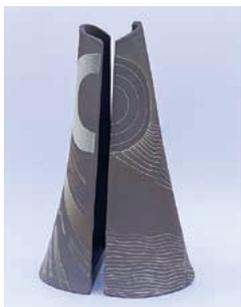
## 松山南高等学校砥部分校の生徒が優秀な成績を収められました

### 第3回全国やきもの甲子園 2024



伝統工芸賞 石崎美晴さん（松山南高等学校砥部分校2年）

大きな大皿を作成したいという思いで制作に挑みました。完成した大皿は直径38cmで、2月17日には美濃焼ミュージアムでの表彰式に出席しました。今回の作品は、自分ではまだまだ大きさに満足していません。他校の生徒の作品を実際に見ると思っていたよりもはるかに大きく驚きました。進学先として興味を持っている学校の先生方にも評価をいただき、今まで以上に大きな大皿を制作したい意欲が高まりました。



佳作 河端美花さん（松山南高等学校砥部分校3年）

有限会社伊予鋳業所で開発された赤砥土を使って左右一對のミニュメントを制作しました。土をプレス機で板状に延ばし、型紙に合わせて切り、赤いコーンに乗せてカーブを作りました。ある程度乾いたら底を作り、素焼きします。砥部の土を吹きつけて色をつけました。素焼きはオレンジ色になってかわいい！どの工程も大変で陶芸をしている方はすごいと改めて思いました。高校生活最後に陶芸の賞をいただけてうれしいです。

### 第35回読書感想画中央コンクール 高等学校の部



自由読書部門 優秀賞 中川文さん（松山南高等学校砥部分校2年）

作品名 自分でしかない

「何者でもない」（講談社刊）を読んで感じたのは、誰を演じようと、どう振る舞おうと自分は自分であるということです。自分という一生逃れられないものに縛られているということを3人の同一人物で表しました。この作品は自分でも気に入っていたため、優秀賞をいただけてとてもうれしかったです。

## 第75回如月忌 名優 井上正夫をしのんで



2月2日、砥部小学校6年生 16人が客区にある井上正夫のお墓を掃除しました。児童たちは大先輩に思いをはせながら、一生懸命きれいにしていました。

命日の2月7日には第75回如月忌が開催され、文化会館で「ふるさと砥部 井上正夫 絵手紙コンクール」の作品展示を鑑賞し、記念行事では井上が出演した映画「命の港」の上映などが行われました。

## 出前講座 環境学習会 SDGs！を開催しました



環境教育の一環として「生活で使う水の処理、動物愛護について」をテーマとした出前講座を行いました。

町職員が講師となり、浄化槽の微生物を顕微鏡で観察したり、犬や猫の増えすぎを抑制し命を大切にする取り組みなどについて学習しました。

受講後、児童たちは「使った水をきれいにする浄化槽の仕組みが分かった」「愛護動物は大切にしないといけないと思った」などと感想を語ってくれました。

2月8日 砥部小学校にて

## 令和6年度国民健康保険税率について答申書が提出されました



町国民健康保険運営協議会の田中会長から町長へ答申書が提出されました。

町長から国保税率を据え置く諮問書の提出を受け、2月14日開催の国民健康保険運営協議会において審議された結果、出席した協議会委員全員の賛同を受けて「適当と認める」答申がなされたものです。

2月27日 役場にて

協議事項と議事録は  
4月2日からHPで  
閲覧できます



## 公共下水道の全体計画整備区域の見直しについて答申書が提出されました



公共下水道の供用開始から11年、順次整備を進める中で、全ての計画区域を整備するには多大な費用と時間を要すること、また、少子高齢化による人口減少の影響も鑑み、持続可能な下水道整備を推進するため、現在の整備予定区域を縮小することで委員全員の了承を得、町下水道事業審議会の二宮副会長から町長へ答申書が提出されました。計画区域の縮小により公共下水道の整備区域から外れる区域には、浄化槽設置整備補助金の活用を推進するなど、浄化槽普及促進策の充実を望む意見も出されました。

3月5日 役場にて

協議事項と議事録は  
4月2日からHPで  
閲覧できます



## 七折小梅クラフトビールが完成しました



ななおれ梅組合が六次産業化支援事業の一環としてクラフトビールを開発し、佐川町長へ完成の報告をしました。これは、七折小梅のピューレを使用し梅特有の甘酸っぱい風味を付けたもので、2月17日から開催された七折梅まつりで販売されました。予定の300本がわずか2日で完売し、追加分も好評により完売となりました。

2月14日 役場にて

## とべ焼博士検定（2級）の認定証を授与しました



2月18日に、町を代表する伝統産業の砥部焼に関する幅広い知識を問う検定試験「とべ焼博士検定（2級）」を実施しました。

試験の合格者6名に、砥部焼で作られたオリジナル認定証を授与しました。



3月17日 中央公民館にて

## ウォークラリー大会を開催しました



麻生小学校区を舞台に開催したウォークラリー大会に13チーム54人が参加しました。

コースマップを頼りに水満田古墳公園や三島神社などのチェックポイントを巡り、クイズやニュースポーツ、砥部焼の絵付けなどにチャレンジしました。

1位 ナッツチーム（写真1）

2位 お散歩チーム、ソードロードチーム、マッシュルチーム

3月3日 麻生小学校区各所にて

## お知らせ こぶし食堂の営業を再開します

こぶし食堂の管理運営を行う指定管理者が決まり、4月1日（日）から営業を再開します。食堂では「こぶしうどん」をはじめとした地元食材を使った料理を楽しむことができますので、ぜひお越しください。

場 総津 159-1

営業時間 10時～17時

定休日 火曜日、年末年始  
※4月2日（日）はお休みです。

問 こぶし食堂 ☎ 070(4487)8758



4月1日（日）  
10時から

詳しいHPは  
4月2日から  
閲覧できます

